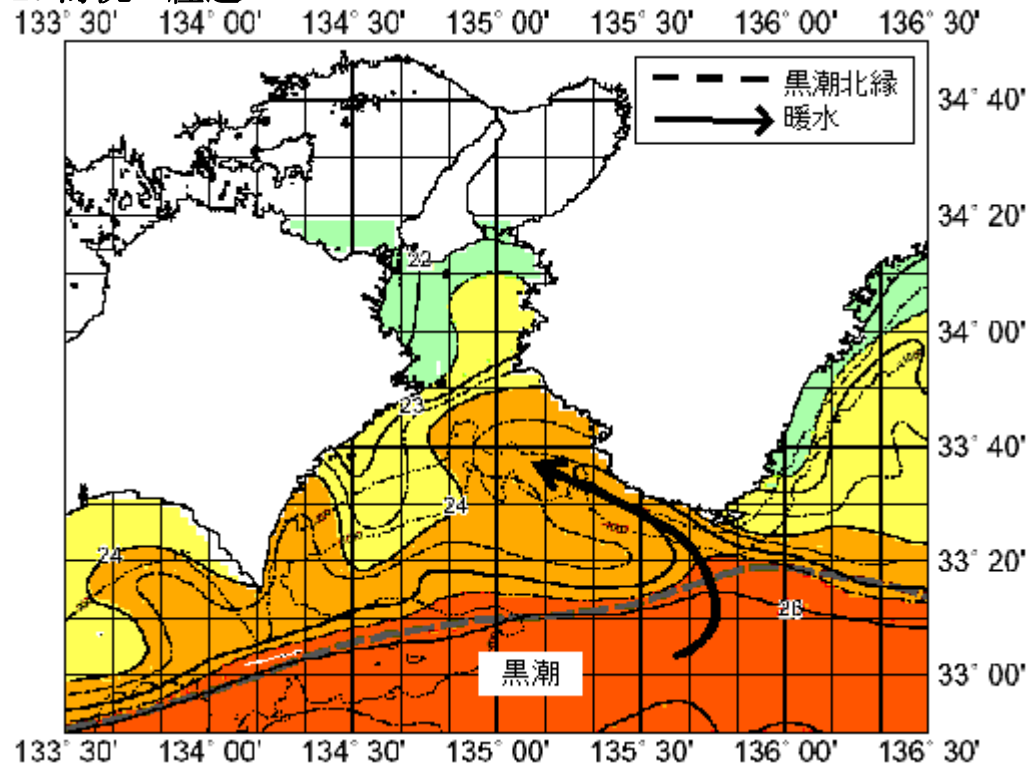


1. 海況の経過



海況 上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.11.04)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸している。黒潮本流の表面水温は25～26℃台である。

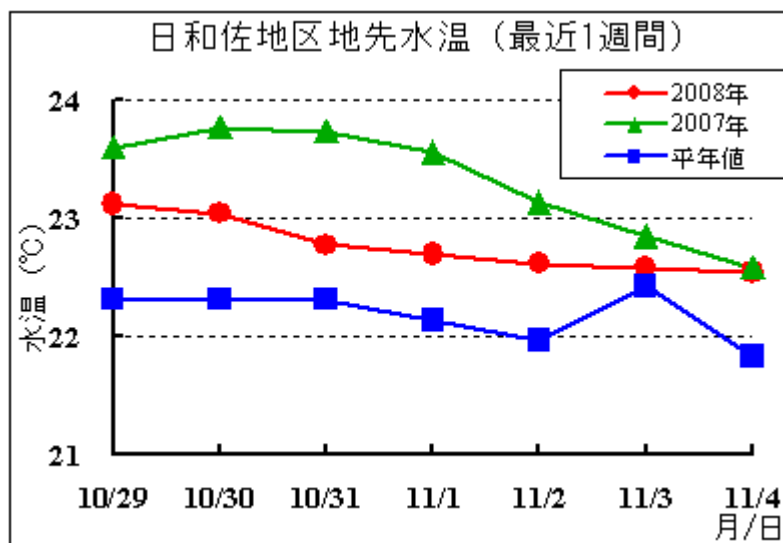
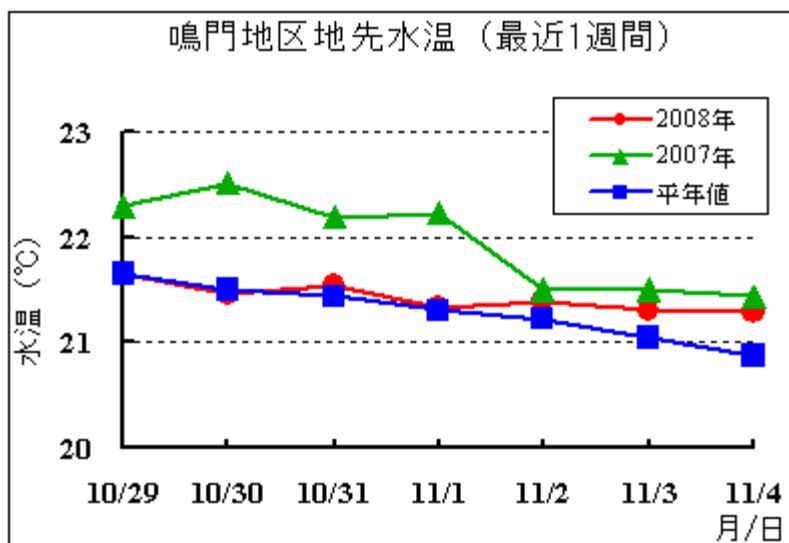
表面水温は播磨灘が21℃台、紀伊水道内部が21～22℃台、外域が22～24℃台である。

紀伊水道内部は、和歌山県側から、弱い黒潮系暖水の波及が続いている。

紀伊水道外域は、先週に引き続き、和歌山県側から反時計回りに暖水が波及し、海部沿岸では、内海系水が南下している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の21.3～21.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.5～23.1℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.5～23.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

**すくい網:**海部沿岸で、ウスバハギが0.4トン(1日1隻あたり29kg)水揚げされた。

**延縄:**海部沿岸で、中主体にアマダイが0.2トン(同12kg)、カワハギが0.4トン(同64kg)、大主体にサバフグが0.6トン(同23kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(同17kg)、カマス類が0.3トン(同6kg)、タチウオが1.1トン(同82kg)、ヒラソウダが0.4トン(同38kg)、小主体にマルアジが1.4トン(同52kg)、マルソウダが0.4トン(同9kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(同4kg)、特大主体にカツオが3.2トン(同290kg)、小主体にキハダが0.9トン(同96kg)、大主体にシイラが0.2トン(同22kg)、中・小主体にタチウオが4.7トン(同49kg)、中主体にハマチが0.6トン(同21kg)、大主体にヨコワが0.7トン(同10kg)、紀伊水道で、サゴシが0.2トン(同7kg)、大・中主体にサワラが0.5トン(同14kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが18.4トン(同192kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 10月27日～11月02日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
すくい網	海部沿岸	ウスバハギ	13	376	29		
延縄		アマダイ	19	219	12	中主体	
		カワハギ	6	381	64		
		サバフグ	24	560	23	大主体	
		アオリイカ	23	394	17		
小型定置網		カマス類	53	325	6		
		タチウオ	14	1,149	82		
		ヒラソウダ	11	415	38		
		マルアジ	26	1,362	52	小主体	
		マルソウダ	41	385	9		
釣り		アオリイカ	71	306	4		
		カツオ	11	3,186	290	特大主体	
		キハダ	9	862	96	小主体	
		シイラ	10	218	22	大主体	
		タチウオ	95	4,702	49	中・小主体	
		ハマチ	27	573	21	中主体	
		ヨコワ	72	715	10	大主体	
		紀伊水道	サゴシ	34	227	7	
			サワラ	34	477	14	大・中主体
	パッチ網		シラス	96	18,400	192	

週間予報:

黒潮は、室戸岬は接岸からやや離岸、潮岬は接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の21℃台、日和佐地先で「やや高め」の22℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄でキハダが0.3トン(1日1隻あたり2.7kg)、ビンナガが0.2トン(同2.5kg)、釣りでスルメイカが5.7トン(同22.9kg)、タチウオが1.4トン(同5.8kg)、イサキが1.2トン(同4.8kg)、パッチ網でシラスが10.9トン(同182kg)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上